

令和6年度 財政状況資料集

総括表（市町村）

都道府県名	千葉県	市町村類型	I-3	指定団体等の指定状況		区分		令和6年度(千円)	令和5年度(千円)	区分		令和6年度(千円・%)	令和5年度(千円・%)			
				財政健全化等	×	歳入総額	26,197,627			26,942,384	実質収支比率			8.6	6.5	
市町村名	館山市	地方交付税種地	1-2	財源超過	×	歳入歳出差引	1,091,803	844,687	(※1)	(97.8)	(95.4)					
				首都	×	翌年度に繰越すべき財源	72,176	95,625	標準財政規模	11,837,160	11,588,381					
				近畿	×	実質収支	1,019,627	749,062	財政力指数	0.55	0.55					
				中部	×	単年度収支	270,565	13,049	公債費負担比率	10.8	10.7					
人口	令和2年国調(人)	45,153	産業構造(※5)		過疎	×	積立金	1,887	142	健全化判断比率						
	平成27年国調(人)	47,464			山振	×	繰上償還金	0	0	実質赤字比率						
	増減率(%)	-4.9			低開発	×	積立金取崩し額	865,149	1,000,000	連結実質赤字比率						
	うち日本人(人)	42,916			指数表選定	○	実質単年度収支	-592,697	-986,809	実質公債費比率	7.1	6.8				
住民基本台帳人口(※7)	令和06.01.01(人)	44,160	第1次	1,400	1,682											
	うち日本人(人)	43,572		2,579	2,998											
	増減率(%)	-1.4	第2次	13.3	13.9											
	うち日本人(%)	-1.5		15,365	16,843											
面積(km ²)	110.05		第3次	79.4	78.3											
人口密度(人/km ²)	410															
世帯数(世帯)	20,272															
職員の状況(※8)																
特別職等	区分	定数	1人あたり平均給料月額(百円)	一般職員等(※6)	区分	職員数(人)	給料月額(百円)	1人あたり平均給料月額(百円)	地方債現在高	22,829,851	21,451,373					
	市区町村長	1	8,180		一般職員	373	1,170,101	3,137	うち公的資金	17,697,161	16,444,219					
	副市区町村長	1	6,950		うち消防職員	-	-	-	地方債現在高(臨時財政対策債除き)	16,188,031	14,111,948					
	教育長	1	6,430		うち技能労務職員	21	70,665	3,365	債務負担行為額(支出予定額)	7,105,215	7,816,383					
	議会議長	1	4,050		教育公務員	29	95,627	3,297	収益事業収入	-	-					
	議会副議長	1	3,660		臨時職員	-	-	-	土地開発基金現在高	100,833	100,759					
	議会議員	16	3,420		合計	402	1,265,728	3,149	積立金現在高	1,701,768	2,190,030					
						ラスバイレス指数			100.2	減債基金	274,252	252,088				
										その他特定目的基金	2,870,779	3,085,369				
	一般会計等の一覧															
項番	会計名	事業会計の一覧	項番	会計名	公営企業(法適)の一覧	項番	会計名	公営企業(法非適)の一覧	項番	会計名	関係する一部事務組合等一覧	組合等名	地方公社・第三セクター等一覧	項番	団体名	(※3)
(1)	一般会計	(2)	国民健康保険特別会計	(5)	下水道事業会計	(6)	千葉県市町村総合事務組合/一般会計	(7)	千葉県市町村総合事務組合/千葉県自治会館管理運営特別会計	(8)	千葉県市町村総合事務組合/千葉県自治研修センター特別会計	(9)	千葉県市町村総合事務組合/千葉県市町村交通災害共済特別会計	(10)	千葉県後期高齢者医療広域連合/一般会計	
		(3)	介護保険特別会計					(11)	千葉県後期高齢者医療広域連合/特別会計	(12)	南房総広域水道企業団/水道用水供給事業会計	(13)	安房郡市広域市町村圏事務組合/一般会計	(14)	三芳水道企業団/水道事業会計	
		(4)	後期高齢者医療特別会計													

(注釈) ※1: 経常収支比率の()内の数値は、「減収補填債(特例分)」及び「臨時財政対策債」を除いて算出したものである。
 ※2: 各会計の一覧は主な会計(10会計まで)を記載している。
 ※3: 地方公共団体が損失補填等を行っている出資法人で、健全化法の算出対象となっている団体については、「地方公社・第三セクター等」の団体名に○印を付与している。
 ※4: 資金不足比率欄には、資金が不足している会計のみ記載している。
 ※5: 産業構造の比率は、分母を就業人口総数とし、分母不能の産業を除いて算出。
 ※6: 個人情報保護の観点から、対象となる職員数が1人又は2人の場合は、「給料月額(百円)」と「1人あたり給料月額(百円)」を「アスタリスク(*)」としている。(その他、数値のない欄については、すべてハイフン(-)としている)。
 ※7: 人口については、調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に記載されている人口に基づいている。
 ※8: 職員の状況については、調査対象年度の地方公務員給与実態調査に基づいている。

(1) 普通会計の状況（市町村）

歳入の状況（単位 千円・％）				地方税の状況（単位 千円・％）				
区分	決算額	構成比	經常一般財源等	構成比	区分	収入済額	構成比	超過課税分
地方税	5,941,494	22.7	5,429,585	44.7	普通税	5,396,265	90.8	37,759
地方譲与税	129,386	0.5	129,386	1.1	法定普通税	5,396,265	90.8	37,759
利子割交付金	2,891	0.0	2,891	0.0	市町村民税	2,303,591	38.8	37,759
配当割交付金	48,866	0.2	48,866	0.4	個人均等割	73,144	1.2	-
株式等譲渡所得割交付金	73,434	0.3	73,434	0.6	所得割	1,905,939	32.1	-
分離課税所得割交付金	-	-	-	-	法人均等割	145,264	2.4	-
地方消費税交付金	1,186,101	4.5	1,186,101	9.8	法人税割	179,244	3.0	37,759
ゴルフ場利用税交付金	32,445	0.1	32,445	0.3	固定資産税	2,507,163	42.2	-
自動車取得税交付金	-	-	-	-	うち純固定資産税	2,500,282	42.1	-
軽油引取税交付金	-	-	-	-	軽自動車税	186,541	3.1	-
自動車税環境性能割交付金	24,704	0.1	24,704	0.2	市町村たばこ税	398,970	6.7	-
法人事業税交付金	120,969	0.5	120,969	1.0	鉱産税	-	-	-
地方特例交付金等	204,737	0.8	204,737	1.7	特別土地保有税	-	-	-
住宅借入金等特別税額控除減収補填特例交付金	26,968	0.1	26,968	0.2	法定外普通税	-	-	-
定額減収減収補填特例交付金	176,790	0.7	176,790	1.5	目的税	545,229	9.2	-
新型コロナウイルス感染症対策地方税減収補填特例交付金	979	0.0	979	0.0	法定目的税	545,229	9.2	-
地方交付税	5,071,975	19.4	4,729,957	38.9	入湯税	33,320	0.6	-
普通交付税	4,729,957	18.1	4,729,957	38.9	事業所税	-	-	-
特別交付税	341,983	1.3	-	-	都市計画税	511,909	8.6	-
震災復興特別交付税	35	0.0	-	-	水利地益税等	-	-	-
(一般財源計)	12,837,002	49.0	11,983,075	98.6	法定外目的税	-	-	-
交通安全対策特別交付金	4,523	0.0	4,523	0.0	旧法による税	-	-	-
分担金・負担金	49,417	0.2	-	-	合計	5,941,494	100.0	37,759
使用料	158,046	0.6	36,406	0.3				
手数料	371,090	1.4	-	-				
国庫支出金	4,910,067	18.7	-	-				
国有提供交付金(特別区財調交付金)	81,752	0.3	81,752	0.7				
都道府県支出金	1,340,922	5.1	-	-				
財産収入	21,831	0.1	17,110	0.1				
寄附金	671,834	2.6	-	-				
繰入金	1,694,863	6.5	-	-				
繰越金	469,687	1.8	-	-				
諸収入	575,793	2.2	28,560	0.2				
地方債	3,010,800	11.5	-	-				
うち減収補填債(特例分)	-	-	-	-				
うち臨時財政対策債	43,400	0.2	-	-				
歳入合計	26,197,627	100.0	12,151,426	100.0				

(注釈)
普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。

歳出の状況（単位 千円・％）				
区分	決算額 (A)	構成比	(A)のうち普通建設事業費	(A)のうち充当一般財源等
議会費	176,060	0.7	-	176,060
総務費	2,700,474	10.8	26,664	2,014,421
民生費	9,182,660	36.6	480,235	4,880,428
衛生費	2,088,288	8.3	165,428	1,463,382
労働費	-	-	-	-
農林水産業費	494,668	2.0	125,513	322,814
商工費	565,533	2.3	2,523	369,477
土木費	1,531,635	6.1	654,327	971,923
消防費	1,303,889	5.2	214,978	1,088,624
教育費	5,292,750	21.1	3,507,443	1,523,109
災害復旧費	32,182	0.1	-	9,060
公債費	1,737,685	6.9	-	1,677,823
諸支出金	-	-	-	-
前年度繰上充用金	-	-	-	-
歳出合計	25,105,824	100.0	5,177,111	14,497,121

性質別歳出の状況（単位 千円・％）					
区分	決算額	構成比	充当一般財源等	經常経費充当一般財源等	經常収支比率
義務的経費計	10,657,091	42.4	7,241,331	6,427,708	52.7
人件費	4,026,721	16.0	3,754,059	3,682,909	30.2
うち職員給	2,199,668	8.8	2,024,921	-	-
扶助費	4,892,685	19.5	1,809,449	1,066,976	8.7
元利償還金	1,737,685	6.9	1,677,823	1,677,823	13.8
うち元金	1,737,685	6.9	1,677,823	1,677,823	13.8
うち利子	1,632,322	6.5	1,573,670	1,573,670	12.9
一時借入金利子	105,363	0.4	104,153	104,153	0.9
その他の経費	9,239,440	36.8	6,881,473	5,452,151	44.7
物件費	3,199,058	12.7	2,060,543	1,614,741	13.2
維持補修費	76,616	0.3	64,320	64,320	0.5
補助費等	2,932,184	11.7	2,556,696	1,774,672	14.6
うち一部事務組合負担金	1,136,545	4.5	1,136,545	1,067,005	8.7
繰出金	2,451,661	9.8	2,048,305	1,998,418	16.4
積立金	509,921	2.0	151,609	-	-
投資・出資金・貸付金	70,000	0.3	-	-	-
前年度繰上充用金	-	-	-	-	-
投資的経費計	5,209,293	20.7	374,317	-	-
うち人件費	140,643	0.6	140,643	-	-
普通建設事業費	5,177,111	20.6	365,257	-	-
うち補助	1,963,636	7.8	83,951	-	-
うち単独	3,105,101	12.4	261,732	-	-
災害復旧事業費	32,182	0.1	9,060	-	-
失業対策事業費	-	-	-	-	-
歳出合計	25,105,824	100.0	14,497,121	-	-

(2)各会計、関係団体の財政状況及び健全化判断比率（市町村）

令和6年度 千葉県館山市

一般会計等の財政状況(単位:百万円)

会計名	歳入	歳出	形式収支	実質収支	他会計等からの繰入金	地方債現在高	備考
1 一般会計	26,198	25,106	1,092	1,020	1,695	22,830	
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
41							
42							
43							
44							
45							
46							
47							
48							
49							
50							
51							
52							
53							
54							
55							
56							
57							
58							
59							
60							
61							
62							
63							
64							
65							
66							
67							
68							
69							
70							
71							
72							
73							
74							
75							
76							
77							
78							
79							
80							
81							
82							
83							
84							
85							
86							
87							
88							
89							
90							
91							
92							
93							
94							
95							
96							
97							
98							
99							
100							
101							
102							
103							
104							
105							
106							
107							
108							
109							
110							
111							
112							
113							
114							
115							
116							
117							
118							
119							
120							
121							
122							
123							
124							
125							
126							
127							
128							
129							
130							
131							
132							
133							
134							
135							
136							
137							
138							
139							
140							
141							
142							
143							
144							
145							
146							
147							
148							
149							
150							
151							
152							
153							
154							
155							
156							
157							
158							
159							
160							
161							
162							
163							
164							
165							
166							
167							
168							
169							
170							
171							
172							
173							
174							
175							
176							
177							
178							
179							
180							
181							
182							
183							
184							
185							
186							
187							
188							
189							
190							
191							
192							
193							
194							
195							
196							
197							
198							
199							
200							
201							
202							
203							
204							
205							
206							
207							
208							
209							
210							
211							
212							
213							
214							
215							
216							
217							
218							
219							
220							
221							
222							
223							
224							
225							
226							
227							
228							
229							
230							
231							
232							
233							
234							
235							
236							
237							
238							
239							
240							
241							
242							
243							
244							
245							
246							
247							
248							
249							
250							
251							
252							
253							
254							
255							
256							
257							
258							
259							
260							
261							
262							
263							
264							
265							
266							
267							
268							
269							
270							
271							
272							
273							
274							
275							
276							
277							
278							
279							
280							
281							
282							
283							
284							
285							
286							
287							
288							
289							
290							
291							
292							
293							
294							
295							
296							
297							
298</							

(3) 市町村財政比較分析表(普通会計決算)

令和6年度

千葉県館山市

人口	43,554人	(R7.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	42,916人	(R7.1.1現在)	連結実質赤字比率	-	%
面積	110.05	km ²	実質公債費比率	7.1	%
歳入総額	26,197,627	千円	将来負担比率	70.7	%
歳出総額	25,105,624	千円	市町村類型	R02 I-3 R03 I-3 R04 I-3	
実質収支	1,019,627	千円	(年度毎)	R05 I-3 R06 I-3	
標準財政規模	11,837,160	千円			
地方債現在高	22,829,851	千円			



※市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。

※充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記しない。

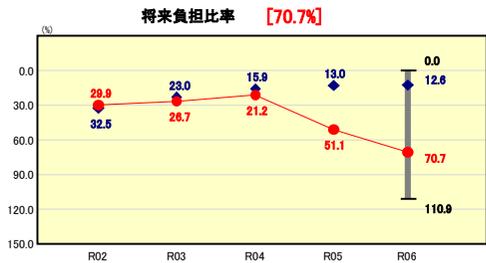
※「人件費・物件費等の状況」の決算額は、人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

※人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。

※類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和6年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。

※「定員管理の状況」の「人口1,000人当たり職員数」の算出に用いる職員数及び「給与水準(国との比較)」の「ラスパイレス指数」については、各調査対象年度の地方公務員給与実態調査に基づいている。

将来負担の状況

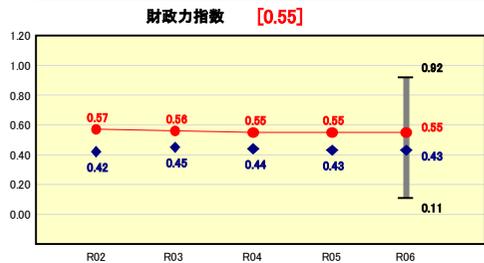


将来負担比率の分析欄

将来負担比率は70.7%で、類似団体内順位は46/52と類似団体と比較して高い水準にある。推移は令和5年度以降急上昇しており、公共施設の大規模改修事業分(中学校建替事業)を借り入れたことに伴う地方債現在高の増加(22,829,851千円)の影響が大きいと考えられる。

今後は、新規事業の実施に当たり投資規模・財源構成を厳格に点検し、地方債の発行抑制と計画的な基金活用(財政調整基金等の残高管理)を徹底する。

財政力

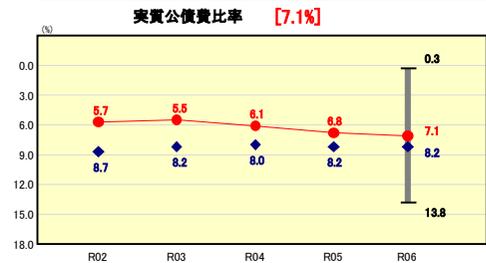


財政力指数の分析欄

財政力指数は0.55で、類似団体内順位は9/52と比較的高い水準にある。一方で、推移は緩やかな低下傾向であり、人口減少等に伴う税収基盤の伸び悩みや、基準財政需要額の増加が影響している。

今後は、市税等の徴収率維持・向上(現年徴収率は高水準で推移しているため更なる滞納圧縮を含む)により歳入確保に努めるとともに、事務事業の優先順位付けや公共施設等の適正管理を通じて経常経費の抑制を図り、財政基盤の維持・強化に努める。

公債費負担の状況

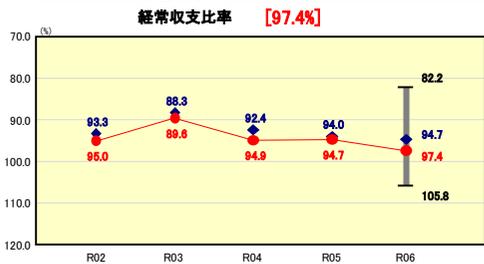


実質公債費比率の分析欄

実質公債費比率(3年平均)は7.1%で、類似団体内順位は18/52と中位である。推移は上昇傾向にあり、公共施設の大規模改修事業分(中学校建替事業)を借り入れたことが原因である。

今後は、普通建設事業の選択と集中を徹底し、起債発行額の抑制と償還額の平準化を図り、比率の上昇抑制に努める。

財政構造の弾力性



経常収支比率の分析欄

経常収支比率は97.4%で、類似団体内順位は35/52と類似団体と比べて弾力性が低い水準にある。推移は悪化しており、義務的経費や物件費・補助費等の増加により、経常一般財源の余裕が縮小していることが要因である。

今後は、事務事業の点検・見直しを継続し、民間委託やICT活用による業務効率化で物件費の伸びを抑制するとともに、扶助費については制度運用の適正化・重症化予防等の取組により増加の抑制に努める。

定員管理の状況

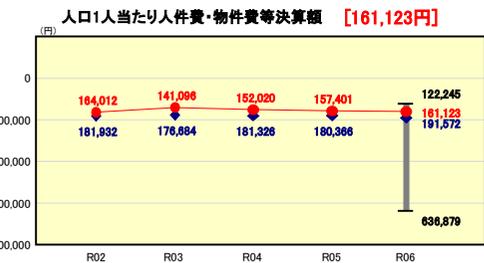


人口1,000人当たり職員数の分析欄

人口1,000人当たり職員数は9.23人で、類似団体内順位は26/52となっている。推移は増加傾向であり、人口減少の進行により分母が縮小する影響に加え、行政需要の多様化や直営業務・施設運営等が職員配置に影響している。

今後は、業務の優先順位付けに基づく適正配置を進め、民間委託・指定管理者制度の活用、ICTによる窓口・内部事務の効率化、組織体制の簡素化等により、住民サービス水準を確保しつつ職員数の適正化に努める。

人件費・物件費等の状況

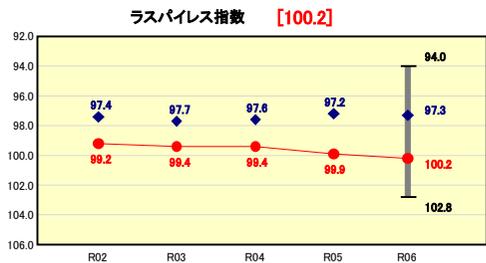


人口1人当たり人件費・物件費等決算額の分析欄

人口1人当たり人件費・物件費等決算額は161,123円で、類似団体内順位は10/52と類似団体と比較して低い水準にある。推移は増加しており、物価上昇等に伴う施設維持管理コストの影響が要因である。

今後は、公共施設等総合管理計画の考え方に基づき、施設の集約化・長寿命化・更新の平準化を進める。また、事務の標準化・電子化を進めることにより、人件費、物件費の現水準の維持・抑制に努める。

給与水準 (国との比較)



ラスパイレス指数の分析欄

ラスパイレス指数は100.2で、類似団体内順位は49/52と高い水準にある。推移は上昇傾向であり、給与制度や各種手当の構成、年齢構成等が影響している。

今後は、国・他団体の状況を踏まえつつ、手当を含めた給与制度の点検、昇給・昇格運用の適正化を図るとともに、定員管理とあわせた総人件費の抑制に努め、類似団体との均衡を意識した給与水準の適正化を進める。

(4)-1 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

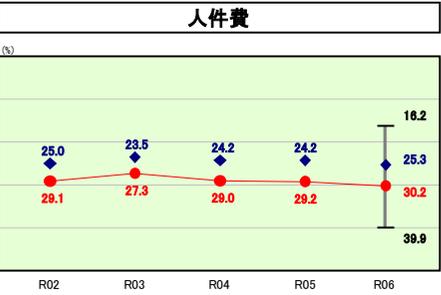
令和6年度

千葉県館山市

経常収支比率の分析

人口	43,554	人(R7.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	42,916	人(R7.1.1現在)	連結実質赤字比率	-	%
面積	110.05	km ²	実質公債費比率	7.1	%
歳入総額	26,197,627	千円	将来負担比率	70.7	%
歳出総額	25,105,824	千円	市町村類型	R02 I-3 R03 I-3 R04 I-3	
実質収支	1,019,627	千円	(年度毎)	R05 I-3 R06 I-3	
標準財政規模	11,837,160	千円			
地方債現在高	22,829,851	千円			

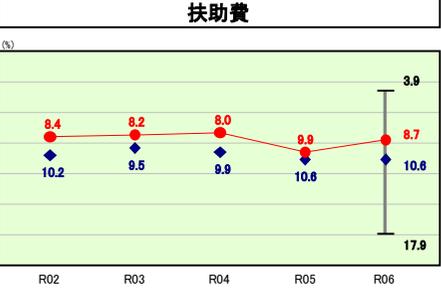
※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和6年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



類似団体内順位 46/52 **全国平均** 26.6 **千葉県平均** 28.1

人件費の分析欄

人件費に係る経常収支比率は30.2%で、類似団体内順位は46/52と類似団体と比較して高い水準にある。今後は、事務事業の見直しによる業務量の適正化、ICT活用による内部事務の効率化、民間委託・指定管理者制度の活用等により、経常的な支出に係る人件費の抑制を図る。



類似団体内順位 20/52 **全国平均** 13.4 **千葉県平均** 13.7

扶助費の分析欄

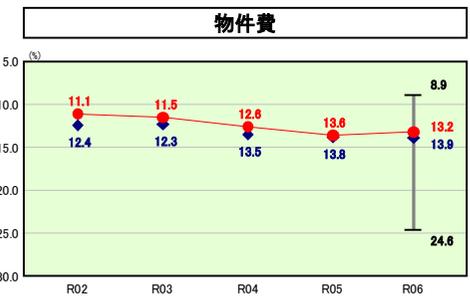
扶助費に係る経常収支比率は8.7%で、類似団体内順位は20/52と類似団体と比較して低位にある。令和6年度は低下しているものの、社会保障関係経費は中長期的に増加圧力が見込まれる。今後は、制度運用の適正化(資格・受給要件の確認等)を徹底するとともに、重症化予防、介護予防、子育て支援施策の効果検証等を通じ、扶助費増加を抑制しつつ必要な支援を確保する。



類似団体内順位 13/52 **全国平均** 15.0 **千葉県平均** 12.9

公債費の分析欄

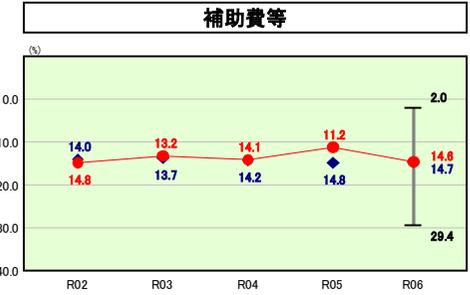
公債費に係る経常収支比率は13.8%で、類似団体内順位は13/52と類似団体と比較して低い水準にある。近年は概ね抑制されている。一方、実質公債費比率は上昇しており、将来的な負担増が懸念される。今後は、普通建設事業の選択と集中を徹底し、新規発行の抑制と償還の平準化を図り、公債費の安定的な管理に努める。



類似団体内順位 22/52 **全国平均** 15.6 **千葉県平均** 18.8

物件費の分析欄

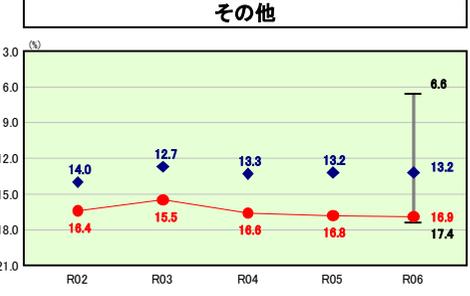
物件費に係る経常収支比率は13.2%で、類似団体内順位は22/52と概ね類似団体並みの水準にある。推移は中期的には上昇しており、委託料や施設の維持管理費の増加、物価上昇の影響が要因と考えられる。引き続き、事務事業の取捨選択を行うとともに、窓口業務の集約化など、民間委託の推進による事務事業の効率化を図り、物件費の伸びの抑制に努める。



類似団体内順位 26/52 **全国平均** 10.7 **千葉県平均** 8.7

補助費等の分析欄

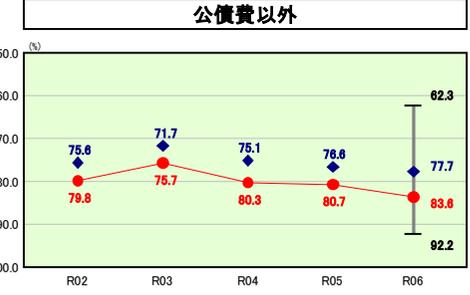
補助費等に係る経常収支比率は14.6%で、類似団体内順位は26/52と類似団体並みの水準にある。年度により変動が大きく、関係団体への負担金や一部事務組合負担金、社会保障関連の負担金の増減等が影響していると考えられる。今後は、補助金・負担金の交付目的や効果の点検を行い、終期設定や成果指標の導入などにより見直し・整理を進める。



類似団体内順位 51/52 **全国平均** 12.5 **千葉県平均** 11.9

その他の分析欄

その他に係る経常収支比率は16.9%で、類似団体内順位は51/52と類似団体と比較して高い水準にある。今後は、各会計での独立採算性を高める取り組み(医療費・介護給付費の抑制に係る施策など)を推進し、少しでも繰出金を減少させるよう努める。



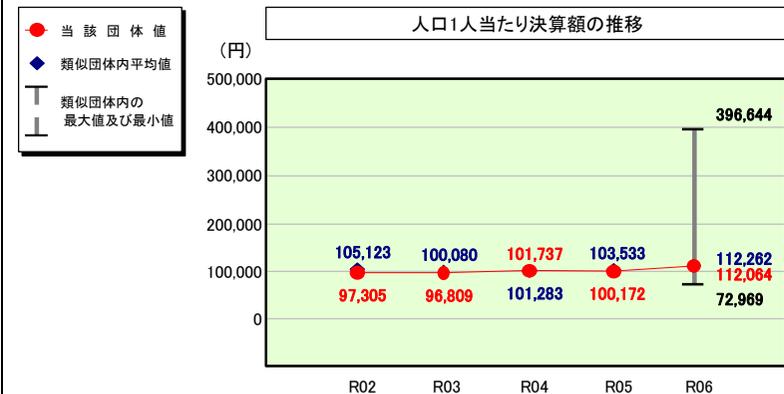
類似団体内順位 40/52 **全国平均** 78.8 **千葉県平均** 81.2

公債費以外の分析欄

公債費以外の経常収支比率は83.6%で、類似団体内順位は40/52と類似団体と比較して高い水準にある。推移は上昇しており、主に人件費の高止まり、物件費の増加傾向等が影響している。今後は、経常経費全体の構造改革として、定員管理と業務効率化による人件費抑制、施設管理の最適化による物件費抑制を一体的に進め、経常収支比率の改善(弾力性の回復)に努める。

(4)-2 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

人件費及び人件費に準ずる費用の分析



人件費及び人件費に準ずる費用

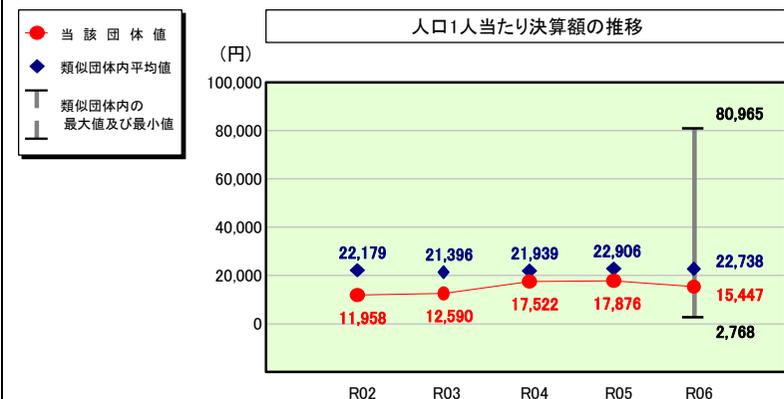
項目	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体(円)	類似団体平均(円)	対比(%)
人件費	4,026,721	92,454	99,044	▲ 6.7
一部事務組合負担金(補助費等)	803,134	18,440	12,597	46.4
公営企業(法適)等に対する繰出し(補助費等)	89,359	2,052	1,194	71.9
公営企業(法適)等に対する繰出し(投資及び出資金・貸付金)	-	-	181	-
公営企業(法非適)等に対する繰出し(繰出金)	246,486	5,659	3,890	45.5
事業費支弁に係る職員の人件費(投資的経費)	140,643	3,229	1,837	75.8
▲退職金	▲ 425,504	▲ 9,770	▲ 6,318	54.6
合計	4,880,839	112,064	112,262	▲ 0.2

参考

項目	当該団体	類似団体平均	対比(差引)
人口1,000人当たり職員数(人)	9.23	9.26	▲ 0.03
ラスパイレズ指数	100.2	97.3	2.9

(注) 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に記載されている人口に基づいている。

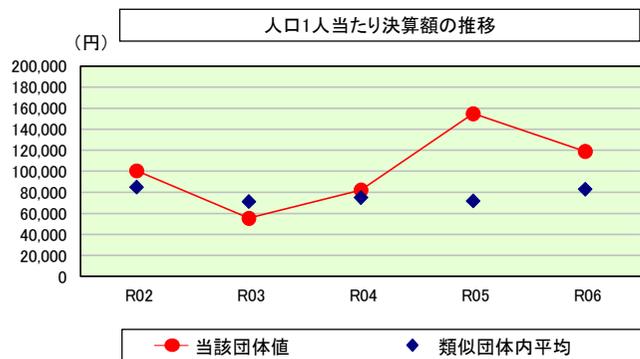
公債費及び公債費に準ずる費用の分析



公債費及び公債費に準ずる費用(実質公債費比率の構成要素)

項目	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体(円)	類似団体平均(円)	対比(%)
元利償還金の額 (繰上償還額等を除く)	1,737,685	39,897	60,713	▲ 34.3
積立不足額を考慮して算定した額	-	-	-	-
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額)	-	-	-	-
公営企業に要する経費の財源とする地方債の償還の財源に 充てたと認められる繰入金	309,386	7,104	14,168	▲ 49.9
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる 補助金又は負担金	120,567	2,768	2,586	7.0
公債費に準ずる債務負担行為に係るもの	80,148	1,840	189	873.5
一時借入金利子 (同一団体における会計間の現金運用に係る利子は除く)	-	-	8	-
▲特定財源の額	▲ 363,370	▲ 8,343	▲ 5,399	54.5
▲地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として 普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	▲ 1,211,657	▲ 27,820	▲ 49,527	▲ 43.8
合計	672,759	15,447	22,738	▲ 32.1

(参考) 普通建設事業費の分析



普通建設事業費

年度	項目	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額				
			当該団体(円)	増減率(%) (A)	類似団体平均(円)	増減率(%) (B)	(A)-(B)
R02	合計	4,599,602	100,500	187.3	84,962	7.2	180.1
	うち単独分	1,769,494	38,663	179.6	42,793	2.2	177.4
R03	合計	2,506,597	55,376	▲ 44.9	71,279	▲ 16.1	▲ 28.8
	うち単独分	1,253,713	27,697	▲ 28.4	36,731	▲ 14.2	▲ 14.2
R04	合計	3,671,615	82,181	48.4	74,994	5.2	43.2
	うち単独分	1,802,794	40,352	45.7	36,188	▲ 1.5	47.2
R05	合計	6,836,359	154,809	88.4	71,849	▲ 4.2	92.6
	うち単独分	2,829,237	64,068	58.8	36,144	▲ 0.1	58.9
R06	合計	5,177,111	118,866	▲ 23.2	82,962	15.5	▲ 38.7
	うち単独分	3,105,101	71,293	11.3	42,835	18.5	▲ 7.2
過去5年間平均	合計	4,558,257	102,346	51.2	77,209	1.5	49.7
	うち単独分	2,152,068	48,415	53.4	38,938	1.0	52.4

(5) 市町村性質別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

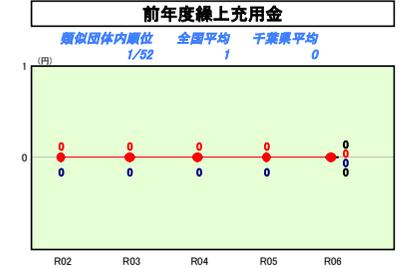
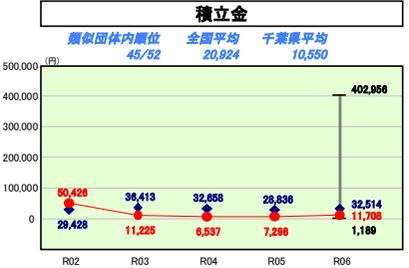
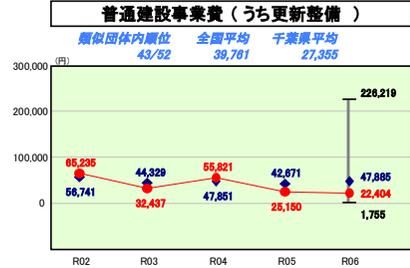
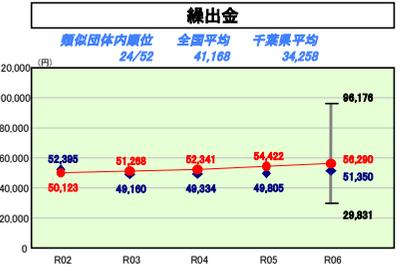
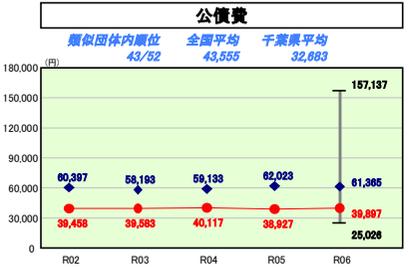
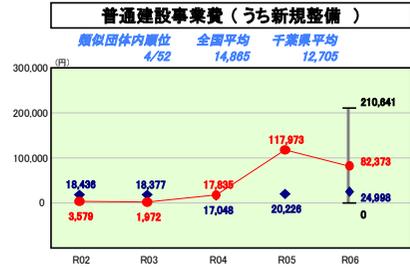
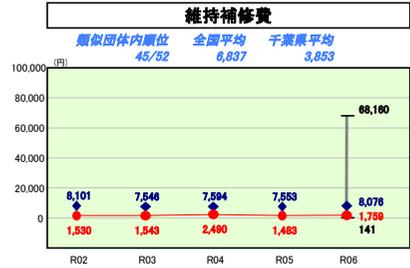
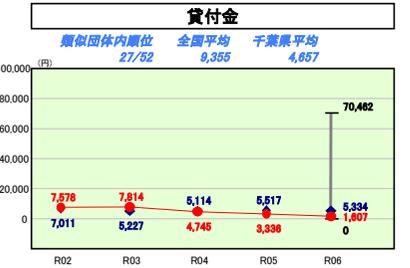
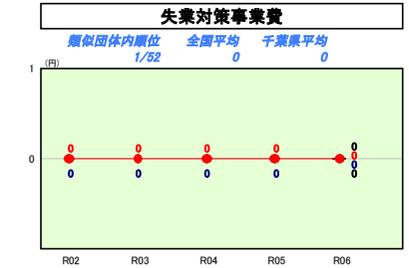
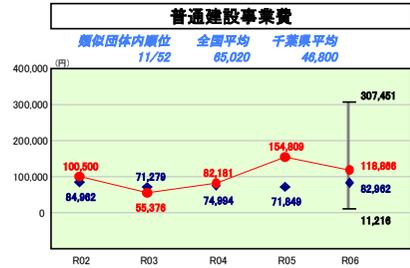
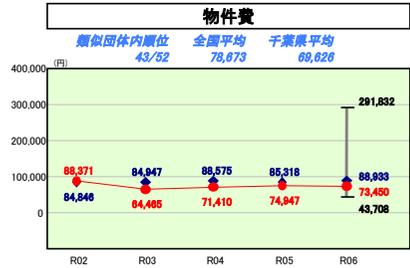
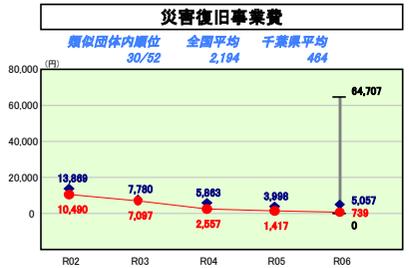
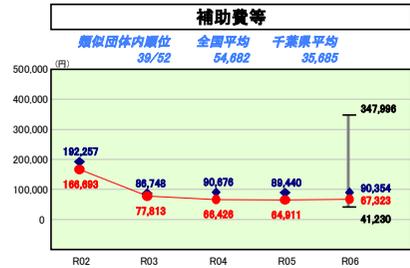
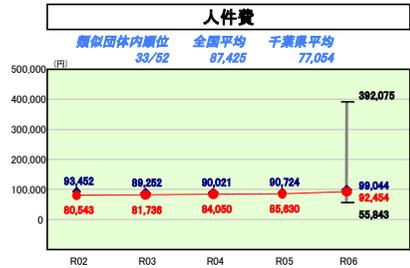
令和6年度

千葉県館山市

人口	43,554 人(R7.1.1現在)	実質赤字比率	- %
うち日本人	42,916 人(R7.1.1現在)	連続実質赤字比率	- %
面積	110.05 km ²	実質公債費比率	7.1 %
歳入総額	26,197,627 千円	将来負担比率	70.7 %
歳出総額	25,106,824 千円	市町村類型	R02 I-3 R03 I-3 R04 I-3
実質収支	1,019,627 千円	(年度毎)	R05 I-3 R06 I-3
標準財政規模	11,837,160 千円		
地方債現在高	22,829,851 千円		



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループの団体を類似団体と言う。
 ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和6年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



性質別歳出の分析欄

類似団体平均と比較すると、普通建設事業費が高水準で、内訳では新規整備が高い一方、更新整備は相対的に低い。このため、今後は公共施設等総合管理計画等に基づき、事業の優先順位付けと新規・更新のバランス確保、費用の平準化に取り組む必要がある。公債費は住民一人当たりで見ると類似団体と比べて高水準ではないものの、実質公債費比率が上昇しているため、将来負担を見据えた起債管理に努める。また、積立金は低水準であることから、計画的な基金積立の確保に努める。人件費・扶助費は概ね類似団体平均並みで推移しており、引き続き適正な執行と効率化を進める。

(6) 市町村目的別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

令和6年度

千葉県館山市

人口	43,554人 (R7.1.1現在)	実質赤字比率	-%
うち日本人	42,916人 (R7.1.1現在)	連続実質赤字比率	-%
面積	110.05 km ²	実質公債費比率	7.1%
歳入総額	26,197,627千円	特種負担比率	70.7%
歳出総額	25,106,824千円	市町村類型	R02 I-3 R03 I-3 R04 I-3
実質収支	1,019,627千円	(年度毎)	R05 I-3 R06 I-3
標準財政規模	11,837,160千円		
地方債現在高	22,829,851千円		

- 当該団体値
- ◆ 類似団体内平均値
- ┌ 類似団体内の最大値及び最小値

※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和6年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



目的別歳出の分析概

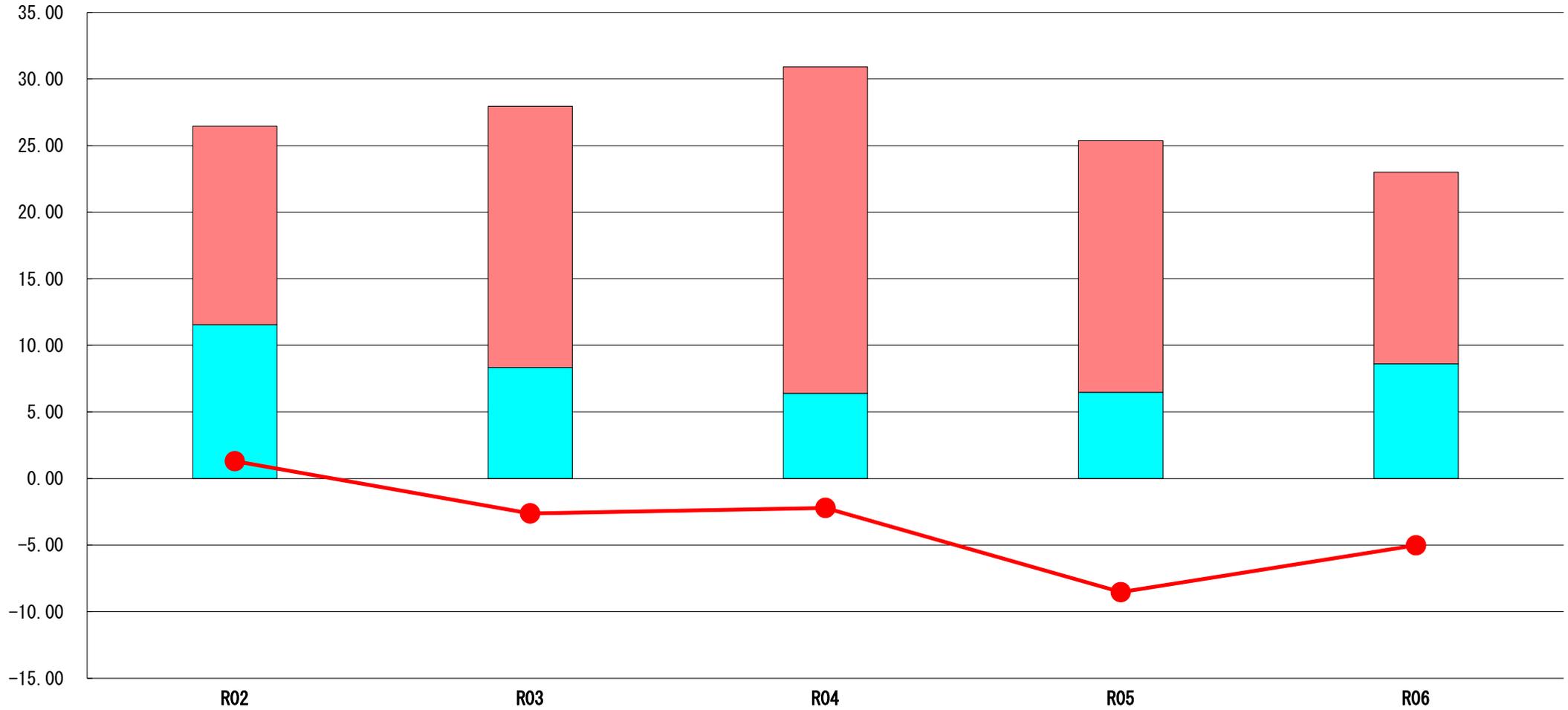
令和5年度と比較すると教育費で大幅な増加となっている。これは、教育費で中学校建替事業の実施によるものである。このほかでは、衛生費で清掃センター長寿命化対策工事が終了したことによる減などがあげられる。今後も効率的な行財政運営を継続するとともに、市民のニーズに合う行政サービスを厳選し、各事業に必要な支出を確保するよう努める。

(7) 実質収支比率等に係る経年分析 (市町村)

令和6年度

千葉県館山市

標準財政規模比 (%)



標準財政規模比 (%)

区分	年度	R02	R03	R04	R05	R06
財政調整基金残高		14.89	19.62	24.51	18.90	14.38
実質収支額		11.56	8.34	6.39	6.46	8.61
実質単年度収支		1.30	▲ 2.62	▲ 2.20	▲ 8.52	▲ 5.01

分析欄

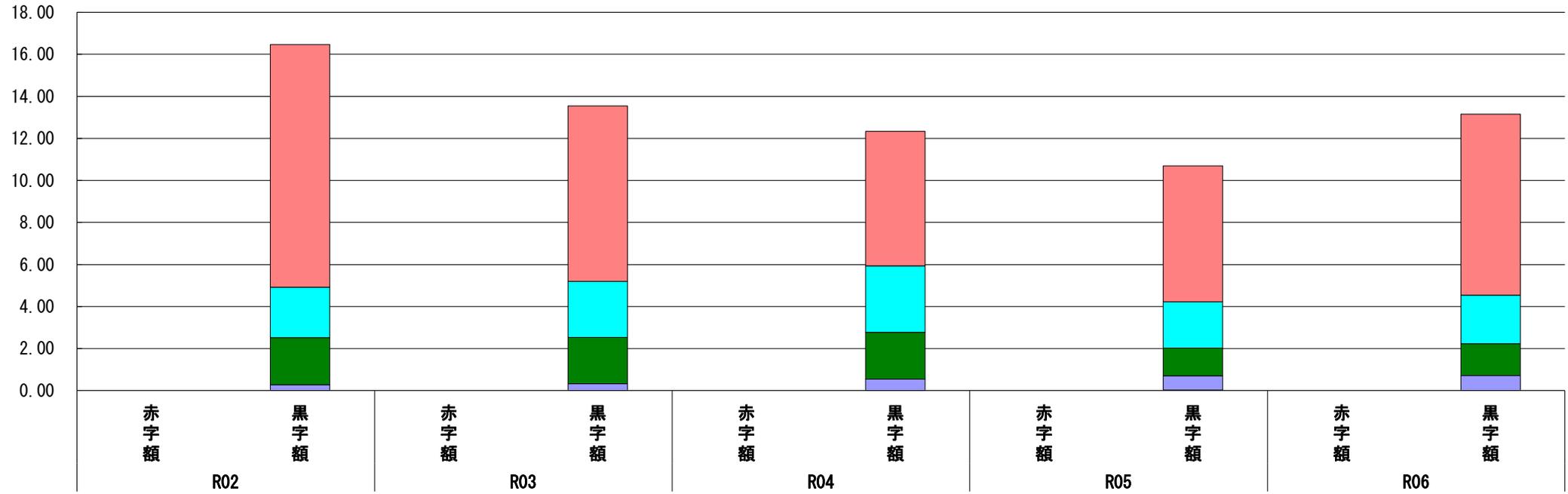
実質収支額は令和6年度で回復している。一方、財政調整基金残高は令和4年度をピークに減少しており、令和6年度は基金取崩しを伴う収支対応が行われた。実質単年度収支も令和3年度以降マイナスが続いており、経常経費の増加等が背景にある。今後は、事務事業の見直しによる経常経費の抑制と歳入確保を両立させ、基金に依存し過ぎない収支構造への転換を進めるとともに、財政調整基金残高の回復・確保に努める。

(8) 連結実質赤字比率に係る赤字・黒字の構成分析 (市町村)

令和6年度

千葉県館山市

標準財政規模比 (%)



標準財政規模比 (%)

会計	年度	R02	R03	R04	R05	R06
一般会計		11.55	8.34	6.39	6.46	8.61
介護保険特別会計		2.40	2.67	3.16	2.21	2.31
国民健康保険特別会計		2.24	2.20	2.23	1.31	1.51
下水道事業会計		0.28	0.33	0.54	0.68	0.72
後期高齢者医療特別会計		0.00	0.00	0.01	0.03	0.00
その他会計 (赤字)		-	-	-	-	-
その他会計 (黒字)		-	-	-	-	-

分析欄

連結実質赤字比率は各年度とも赤字計上はなく、連結ベースでの資金収支は概ね黒字で推移している。黒字額(標準財政規模比)は、一般会計が同水準を維持しつつも年度により変動しているほか、特別会計では介護保険特別会計が令和6年度:2.31%、国民健康保険特別会計が令和6年度:1.51%、下水道事業会計が令和6年度:0.72%、後期高齢者医療特別会計が令和6年度:0.00%となっている。

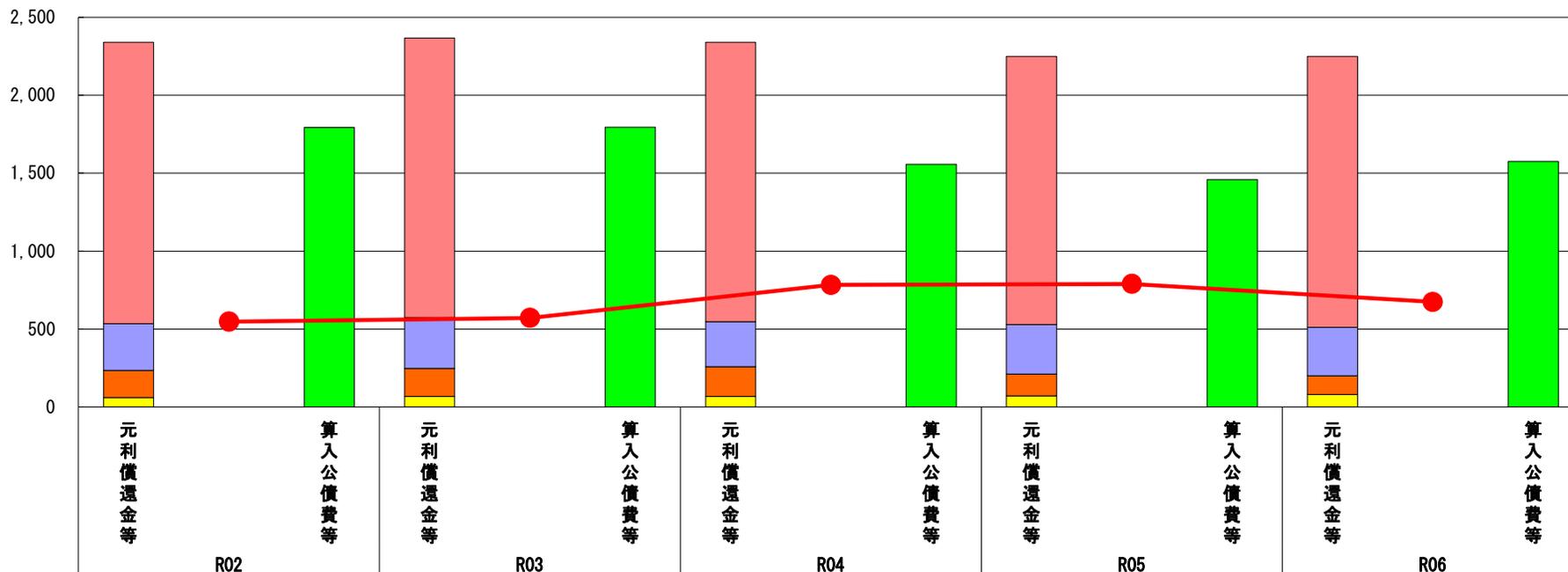
今後も会計間の収支悪化が生じた場合には一般会計負担の増加につながるため、各特別会計・公営企業会計において保険料(使用料)収入の確保、給付適正化、経費節減等の経営改善を進め、連結ベースでの健全性の維持に努める。

(9) 実質公債費比率（分子）の構造（市町村）

令和6年度

千葉県館山市

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	R02	R03	R04	R05	R06
元利償還金等 (A)	元利償還金		1,806	1,792	1,792	1,719	1,738
	減債基金積立不足算定額※2		-	-	-	-	-
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額		-	-	-	-	-
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金		298	328	290	317	309
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等		174	178	189	140	121
	債務負担行為に基づく支出額		61	68	68	72	80
	一時借入金の利子		-	-	-	-	-
算入公債費等 (B)	算入公債費等		1,792	1,795	1,557	1,459	1,575
(A) - (B)	実質公債費比率の分子		547	571	782	789	673

分析欄

実質公債費比率の分子である(A)元利償還金等は、概ね横ばいで推移している。内訳では、一般会計の元利償還金に加え、公営企業債の元利償還金に対する繰入金や組合負担金等、債務負担行為に基づく支出額が一定程度存在し、準元利償還金が継続して分子を押し上げている。

一方、算入公債費等(B)もあわせて計上されるため分子そのものは大きくは増えていないが、今後の投資計画次第で上昇圧力となり得る。

今後は、起債発行の抑制と償還の平準化を図るとともに、公営企業会計の経営改善により繰入負担の抑制を進め、実質公債費比率の安定化に努める。

※ 減債基金積立不足算定額=(C) × (1 - (D)/(E))

(参考)

(百万円)

分子の構造		年度	R02	R03	R04	R05	R06
減債基金積立状況等(注)	満期一括償還地方債に係る実質償還額又は理論償還額のいずれか少ない額(C)		-	-	-	-	-
	前年度末減債基金残高(D)		-	-	-	-	-
	前年度末減債基金積立相当額(E)		-	-	-	-	-

(注) 減債基金のうち、実質公債費比率の算定に用いる満期一括償還地方債の償還の財源に係るもののみを記入。

減債基金積立金の年度を超えた一般会計又は特別会計への貸付額は控除して記入。

分析欄

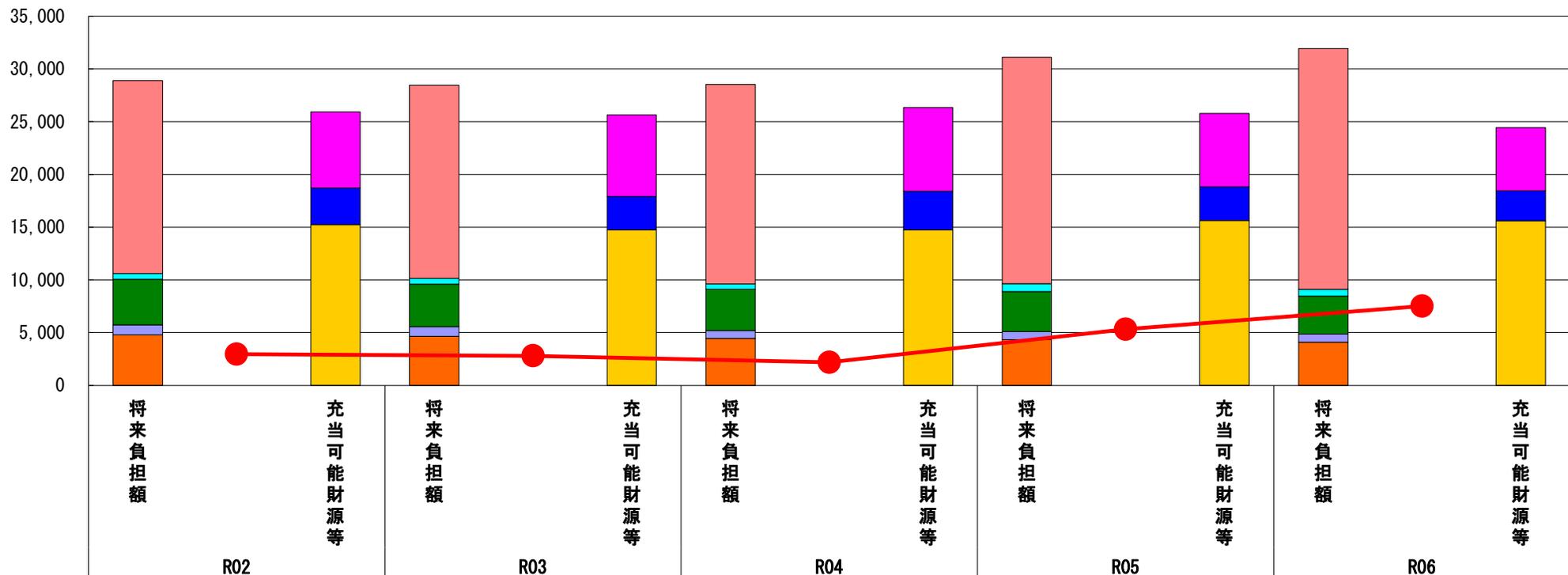
満期一括償還の地方債を借入していない。

(10) 将来負担比率（分子）の構造（市町村）

令和6年度

千葉県館山市

(百万円)



分子の構造		年度	R02	R03	R04	R05	R06
将来負担額 (A)	一般会計等に係る地方債の現在高		18,290	18,314	18,926	21,451	22,830
	債務負担行為に基づく支出予定額		567	549	484	761	647
	公営企業債等繰入見込額		4,293	4,039	3,911	3,789	3,599
	組合等負担等見込額		952	897	737	768	753
	退職手当負担見込額		4,794	4,667	4,476	4,340	4,116
	設立法人等の負債額等負担見込額		-	-	-	-	-
	うち、健全化法施行規則第三条に係る負担見込額		-	-	-	-	-
	連結実質赤字額		-	-	-	-	-
	組合等連結実質赤字額負担見込額		-	-	-	-	-
充当可能財源等 (B)	充当可能基金		7,215	7,722	7,957	6,954	5,974
	充当可能特定歳入		3,471	3,197	3,644	3,204	2,853
	基準財政需要額算入見込額		15,244	14,730	14,747	15,620	15,600
(A) - (B)	将来負担比率の分子		2,965	2,816	2,186	5,331	7,518

分析欄

将来負担比率の分子((A)-(B))は近年急増しており、将来負担の拡大が顕著である。主な要因として、将来負担額(A)のうち一般会計等に係る地方債現在高が増加していること、また公営企業債等繰入見込額が高水準で推移していることが挙げられる。

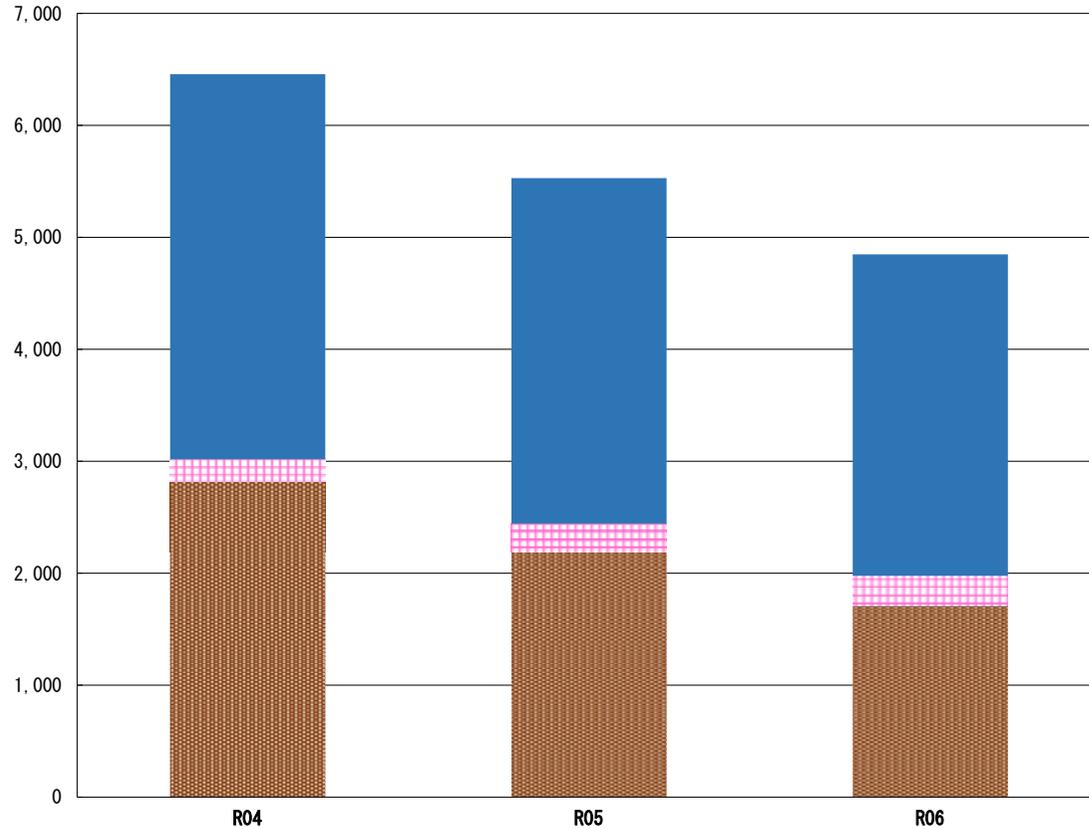
公共施設の大規模改修事業分(中学校建替事業)を借り入れたことにより地方債現在高が増加している。

一方、充当可能財源等(B)では、充当可能特定歳入が減少しており、分子押上げの一因となっている。

今後は、投資的事業の選択と集中により地方債残高の増加抑制と償還計画の平準化を図るとともに、特定財源の確保、公営企業会計の収支改善による一般会計負担の縮減を進め、将来負担比率の上昇抑制に努める。

(11) 基金残高（東日本大震災分を含む）に係る経年分析（市町村）

（百万円）



（百万円）

区分	年度	R04	R05	R06
財政調整基金		2,821	2,190	1,702
減債基金		197	252	274
其他特定目的基金		3,438	3,085	2,871
前澤友作館山応援基金		1,446	1,334	1,263
館山市庁舎等建設基金		1,402	1,275	1,004
フレフレ・たてやま応援基金		106	129	144
館山市子ども・子育て支援基金		129	116	143
館山市観光振興基金		77	91	108
基金残高合計		6,456	5,527	4,847

令和6年度

千葉県館山市

基金全体

（増減理由）

基金残高合計は令和4年度:6,456百万円→令和5年度:5,527百万円→令和6年度:4,847百万円と減少している。特に財政調整基金の減少が大きく、収支調整に基金を活用したためである。

（今後の方針）

各年度の財政需要に対応するため、財政調整基金は現状維持が精一杯の状況である。財政調整基金は、安定的な財政運営のため、目標額の残高となるように積み増すことを目指す。特定目的基金は、当市の厳しい財政状況を考慮しつつ、目的に則した積立及び取崩しを行い、安定した財政運営に資するよう活用する。

財政調整基金

（増減理由）

財政調整基金は令和4年度:2,821百万円→令和5年度:2,190百万円→令和6年度:1,702百万円と減少している。実質単年度収支がマイナス傾向にある中、年度間の財源調整に用いたことが要因である。

（今後の方針）

事務事業の見直し・経常経費の抑制と歳入確保を進め、標準財政規模比での適正水準を意識しながら残高確保に努める。

減債基金

（増減理由）

減債基金は令和4年度:197百万円→令和5年度:252百万円→令和6年度:274百万円と増加している。公債費負担の中長期見通しを踏まえ、将来の償還財源を確保を目的として積み立てを行った。

（今後の方針）

償還計画との整合を取りつつ、必要な積立を継続し、実質公債費比率・将来負担の安定化に資する運用を行う。

其他特定目的基金

（基金の使途）

- ・前澤友作館山応援基金：前澤友作氏からの寄附を原資として、未来への発展に資する事業や観光振興事業等に充当
- ・館山市庁舎等建設基金：基金運用利子を原資として、庁舎及び教育施設の建設に係る事業に充当
- ・フレフレ・たてやま応援基金：ふるさと納税を原資として、寄附者の意思を具体化し、個性あるまちづくりに資する事業に充当
- ・館山市子ども・子育て支援基金：ふるさと納税を原資として、子ども・子育て支援に関する事業（遊具購入や園建設等の施設管理）に充当
- ・館山市観光振興基金：ふるさと納税等を原資として、観光振興に関する事業に充当

（増減理由）

中学校建替事業への充当に伴う館山市庁舎等建設基金の取崩し、観光事業への充当に伴う館山市観光振興基金の取崩し、子ども・子育て事業への充当に伴う館山市子ども・子育て支援基金の取崩しなどにより減少となった。

（今後の方針）

当市の厳しい財政状況を考慮するとともに、基金を充当する事業を明確化し、財政運営への適切な活用を図る。